

日本ビーチ文化振興協会が 第9回健s'バーを開催

10/14

NPO日本ビーチ文化振興協会は、10月14日午後7時から、東京・大手町のフロント大手町店で第9回『健s'バー』を開催した。同協会は「1年を通して海辺に人が集い、賑わい、憩いのある場」として活用されるよう、イベントを通して全国でビーチ活用促進活動をしている。

『健s'バー』は、その活動事例等を取りラックとした環境で特別ゲストとのトークショーで紹介し、来場者にビーチについて興味と関心を喚起し、交流を通じて『ビーチライフの輪』を広げていくイベント。

今回のメインプレゼンターは、松田裕雄筑波大学体育系講師で、テーマは「USAのビーチに学ぶ街づくり」。

はじめに朝日健太郎NPO日本ビーチ文化振興協会理事長が「私達は、ビーチ活動を通じて、日本を元気にしよう」と活動している。一般の方にも広くビーチパレ、ビーチサッカーをはじめ、いろいろな活動を通してビーチ空間を楽しんでいただいています。最近の活動では、ビーチゲームス、これはアジアオリンピック協会が主催するビーチスポーツのオリンピックですが、日本にぜひ誘致して、開催できればと活動しています。ビーチゲームスは2008年に初めてパリ

で開催され、ビーチスポーツだけでなく、観光も目的の一つとしておりまして大きな経済効果も見込まれます。実際五輪マークも付きますので、ビーチパレ以外の知名度も上げればと考えています。『健s'バー』の本日の講師である松田先生は、アメリカの街がビーチスポーツを通じて街の価値をいかに高めていくかというお話をしていただきました」とあいさつした。

松田講師は「今日は、コミュニティを開発する段階でスポーツが防犯に役立ち、スポーツで防犯した結果クライムレシオが下がり、街の価値が上がった、アメリカの事例を紹介します。都市開発でスポーツを通して街をマネージメントしている、ウッドビーチと姉妹都市のウッドベリーの先進的な事例です。日本では考えられないことですが、アメリカではクライムレシオが低いことは、街の価値を大きく高めます。1978年から開発が始まりました。商業主義的なプロ

スポーツは子供の教育によくないと原点回帰し、家族のコミュニケーションをいかに形にしていけるか。スポーツをキーワードに街づくりしている例です。きれいな花が植えてあって、外に出たくなる、モチベーションの作り方がうまいです

ね。気候も温暖で、雨も少なくて、BBQコーナーなども配置して、家と町が連動した、体を動かしたくなるデザインに街並みになっていきます」と説明した。

さらに松田講師は、「親子の対話が人間関係の基本という街づくりのコンセプト

松田講師は「今日は、コミュニティを開発する段階でスポーツが防犯に役立ち、スポーツで防犯した結果クライムレシオが下がり、街の価値が上がった、アメリカの事例を紹介します。都市開発でスポーツを通して街をマネージメントしている、ウッドビーチと姉妹都市のウッドベリーの先進的な事例です。日本では考えられないことですが、アメリカではクライムレシオが低いことは、街の価値を大きく高めます。1978年から開発が始まりました。商業主義的なプロ



松田筑波大体育系講師 朝日ビーチ協会理事長



第9回健s'バーの様相

を紹介し、スポーツで親子の対話が増え、植物を市民が植えて街づくりに参加している様子を示した。

また、競泳用プールは、ビーチと必ずセットであること、こどもの公園は、ウッドチップで舗装され、安全面にも万全の配慮がされていることなどをスライド上映を交えて説明した。

松田講師は「ウッドビーチの住民は、人口の湖を電気でアシニアランドからスベガスのホテルのようですが、高級住宅街になっています。水辺がいたるところにあるので、船上ワインパーティーなども盛んです。スポーツを通して街をマネージメントして住環境に付加価値を付け、住宅価格はかなり高めです。ところが、所得が高い高齢者だけでなく、賃貸で若い世代も住んでいて、多様な世代が暮らす街になっています。欧米人は、水と植物に高価値を見いだしますね。日本でもビーチ文化を根付かせたい

と思います。アメリカだけではなく、欧米では、スポーツで野蛮な人間をインテリジェントにしようという感覚が強いので、価値観、宗教観が違う人たちが唯一理解し合えるツールとして、スポーツをとらえていると考えます」と語った。

続けて松田講師は、先週東京オリンピック50周年を迎え、記念行事があったこととに言及した。今回は2020に向けて、体育だけでなく、本来のスポーツの意味であるデュボルト、職場や日常の活動から離れることで日常を離れて楽しむこと、加えてゲームの「ゲーム(元の意味はギャザール)、人が集まること。この2つの意義も大きい」と語り、オリンピックゲームは、各国から人が集まり、交流することに意義があると考え、と結んだ。

講演の後、ゲームなどを取り入れた参加者交流の工夫が凝らされ、会員の和やかな歓談が続いた。